

学校番号	406
------	-----

## 令和3年度 美術科

教科	芸術	科目	美術 I	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	美術1（光村出版）						
副教材等							

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。</li> <li>・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。</li> </ul>
--

### 2 学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
--

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a: 美術への関心・意欲・態度	b: 発想や構想の能力	c: 創造的な技能	d: 鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

#### 4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	美術を楽しむ	【鑑賞】 オリエンテーション:教科書などを鑑賞し、1年間の授業でなにを大切にしてほしいか学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。	○			○	a: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習意欲を高めている。 d: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	レタリングの基本！	【デザイン】 レタリング基礎:明朝体、ゴシック体などのフォントについて学ぶ。 制作:ネームカード作り。画用紙にアクリル絵の具で着彩する。アルファベット(ローマ字)を使って自分の名前をレタリングする。テーマに沿ったデザインを各自で考える。	○	○	○		a: レタリングに関心を持ち、様々なフォントの表現に意欲的に取り組んでいる。 b: 文字と文字のバランスを意識し、形や色彩などを考えて表現の構想を練っている。 c: アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の様子 作品
	色相環を基にアーチストパネルを作る	【デザイン】【鑑賞】 色彩基礎:色彩の基本的な知識を学び、色相環を作る。アクリル絵の具で着彩。 色彩構成:アーチストパネルにアクリル絵の具で着彩する。文字と形をトレーシングペーパーで写し、パネルに色彩構成する。色彩基礎で学んだ事を生かし、補色などを利用して制作を行う。 作品の鑑賞会	○	○	○	○	a: 色彩構成に関心を持ち、補色などの働きを考えながら構想し、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 目的や意図に応じて、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。基礎的な技法(ベタ塗りなど)が身についている。 d: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、色の働きや作品について理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート 作品

一学期	夏休みの思い出を絵手紙に	【絵画・彫刻】 夏休みの思い出をもとにしてはがきサイズで絵手紙を制作する。 画用紙に水彩絵の具などで着彩する。	○	○	○	a: 絵手紙の制作に関心を持ち、構想し表現することに主体的に取り組もうとしている。 b: 夏休みの思い出をもとに、感じ取ったことや考えたことをまとめ、表現の構想を練っている。 c: 水彩絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 評価方法: 制作の様子、制作途中の作品、作品	制作の様子 制作途中の作品 作品
	鉛筆デッサン基礎!	【絵画・彫刻】 鉛筆削り 鉛筆グラデーション デッサン: スケッチブックに鉛筆と練りゴムでデッサンする。モチーフは紙コップ。事前に鉛筆の濃さを5段階つくる練習をしておき、それを生かして制作する。	○		○	a: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 c: モチーフをよく観察し、表現方法を工夫して表現している。	デッサン ワークシート 制作の様子 制作途中の作品
	デッサンに色をつける	【絵画・彫刻】【鑑賞】 モチーフ選び エスキース(下絵) 制作: 幾何学図形、布、造花などのモチーフから複数選ぶ。エスキースを基にして鉛筆で描き、水彩絵の具などで着彩する。 合評会	○	○	○	○ a: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: エスキースから感じたことを作品に生かしている。表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d: 他者のデッサンから、よさや美しさなどを感じ取り作品について理解を深めている。モチーフの配置から作者の意図を読み取り、作品に対して考えを持っている。	制作の様子 エスキース 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

三学期	カラー版画！木版裏彩色	<p>【絵画・彫刻】</p> <p>版画基礎：凸版、凹版、孔版、平版などの版画の種類および基本的な道具の使い方や彫りについて学ぶ。</p> <p>アイデアスケッチ：干支をテーマにして木版画の下絵を作る。トレーシングペーパー、カーボン紙などを用いて版に転写する。</p> <p>制作：版に転写された下絵を元に彫刻刀で彫っていき、刷る。十分に乾燥した後、水彩絵の具などで着彩する。</p>	○	○	○	○	<p>a：版画で表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b：テーマに基づいて、感性や想像力を働かせて主題を生成し版画の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c：意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。基本的な彫りの技術が身についている。</p> <p>d：他の生徒の作品などのよさや美しさを感じ取り、作品に対する見方や考えなどを持ち、理解している。</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>制作途中の作品</p> <p>作品</p>
	短編アニメーション	<p>【映像メディア表現】【鑑賞】</p> <p>アニメーション基礎：連続した動きの面白さ、アニメーションの仕組みについて学ぶ。</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>絵コンテ</p> <p>制作：数秒または数十秒のアニメーションをつくる。紙に鉛筆で描き、パソコンに取り込む。</p> <p>鑑賞会</p>	○	○	○	○	<p>a：映像メディア表現に対して関心を持ち、アニメーションを表現することに主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b：感じ取ったことや考えたことをアイデアスケッチ、絵コンテに生かし、主題を生成し、映像メディアの表現形式の特性を生かして工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c：アニメーションの動きを理解し、その特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。</p> <p>d：他の生徒の作品などの新しい表現から自己の作品を見つめ、作品に対する見方や考えを深めている。</p>	<p>ワークシート</p> <p>制作の様子</p> <p>アイデアスケッチ</p> <p>絵コンテ</p> <p>制作途中の作品</p> <p>鑑賞ワークシート</p> <p>作品</p>

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度      b:思考・判断・表現  
c:技能      d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

- ・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。